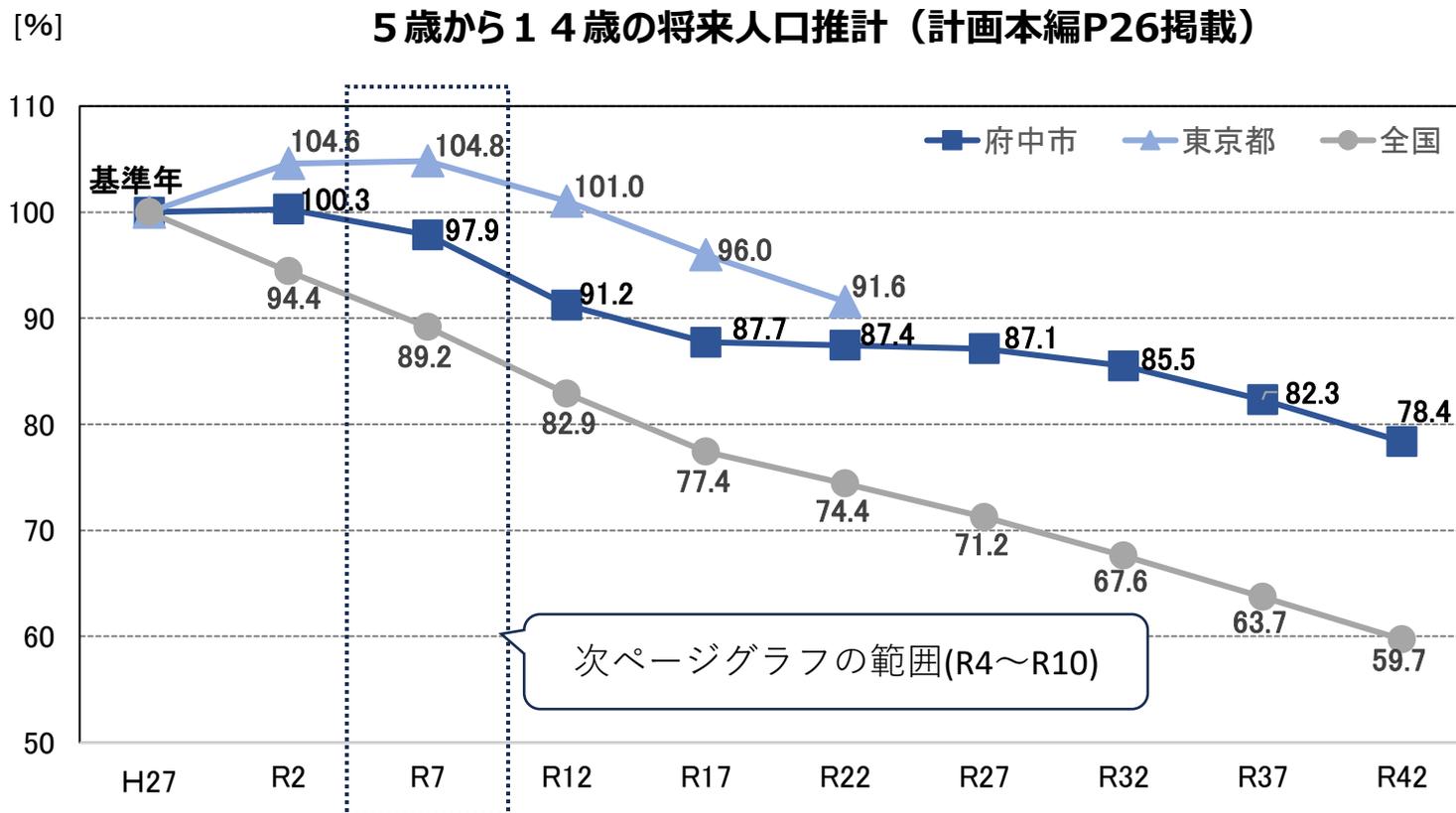


【長期的な見通し】

府中市・東京都では平成27年度を基準とすると短期的に増加し、その後緩やかに減少していく見込み。
 全国の5～14歳人口は減少を続け、令和42年度には平成27年度の6割程度まで減少すると予測されている。



出典：

全国 = 「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

東京都 = 「東京都男女年齢（5歳階級）別人口の予測（平成29年度）」（東京都）

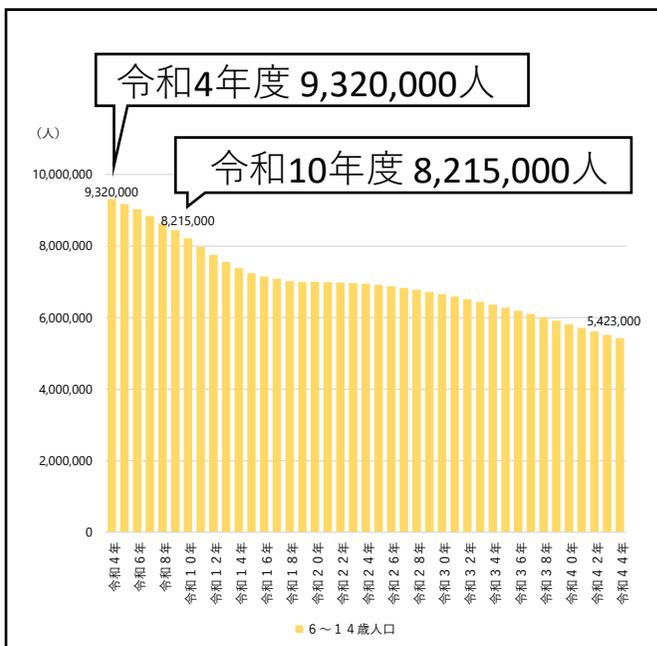
府中市 = 「府中市人口ビジョン府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度）」（府中市）

児童・生徒数の推計と望ましい校舎建築

【短期的な見通し】

令和4年度から令和10年度にかけての6年間で比較すると、児童・生徒数の減少率は、東京都が約7%なのに対し、府中市は約12%であると予測されている。

(全国の6～14歳人口の減少率も約12%だが、長期的には東京都・府中市よりも減少率が大きくなる見込み。)



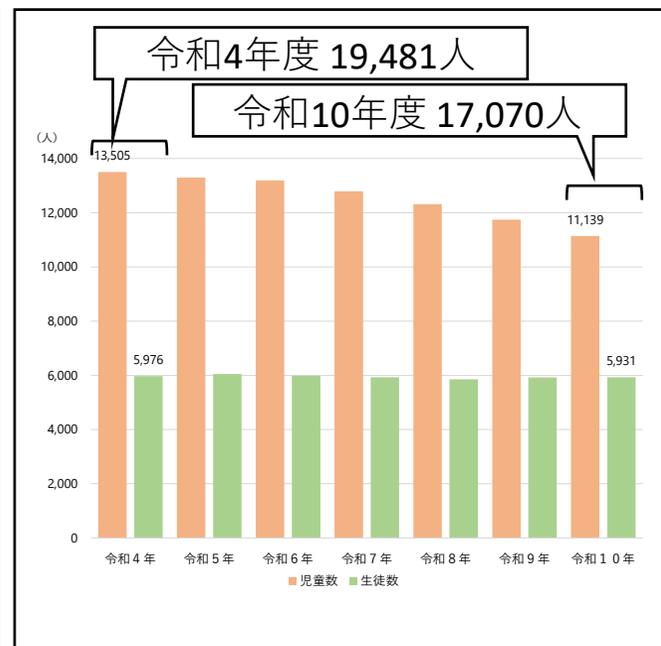
全国 約12%減少

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来人口（令和5年推計）」



東京都 約7%減

出典：東京都教育委員会
「令和4年度教育人口等推計報告書」



府中市 約12%減

出典：府中市教育委員会
「府中市学校適正規模・適正配置検討協議会資料」

児童・生徒数の推計と望ましい校舎建築

【短期的な見通し】

令和4年度から令和10年度までの6年間で、小学校は39学級（2,366人）、中学校は4学級（45人）減少する見込み。
 中学校は、令和4年度から令和16年度までの12年間で、37学級（1,493人）減少する見込み。

【表1】府中市立小学校の児童数・学級数推計

学校名	児童数（人）			学級数（学級）		
	R4 2022年	R10 2028年	今後 6年 R10-R4	R4 2022年	R10 2028年	今後 6年 R10-R4
一小	1,014	948	-66	30	30	0
二小	1,119	979	-140	32	31	-1
三小	774	731	-43	23	23	0
四小	500	499	-1	15	17	2
五小	802	707	-95	24	23	-1
六小	758	493	-265	23	17	-6
七小	364	303	-61	12	12	0
八小	715	558	-157	22	19	-3
九小	441	416	-25	14	13	-1
十小	699	582	-117	21	19	-2
武蔵台小	260	203	-57	10	10	0
住吉小	461	276	-185	14	11	-3
新町小	359	272	-87	13	11	-2
本宿小	708	572	-136	22	18	-4
白糸台小	554	405	-149	19	15	-4
矢崎小	418	355	-63	14	12	-2
若松小	646	566	-80	20	20	0
小柳小	638	544	-94	19	18	-1
南白糸台小	637	479	-158	19	18	-1
四谷小	698	617	-81	22	21	-1
南町小	445	345	-100	13	12	-1
日新小	495	289	-206	18	10	-8
計	13,505	11,139	-2,366	419	380	-39

【表2】府中市立中学校の生徒数・学級数推計

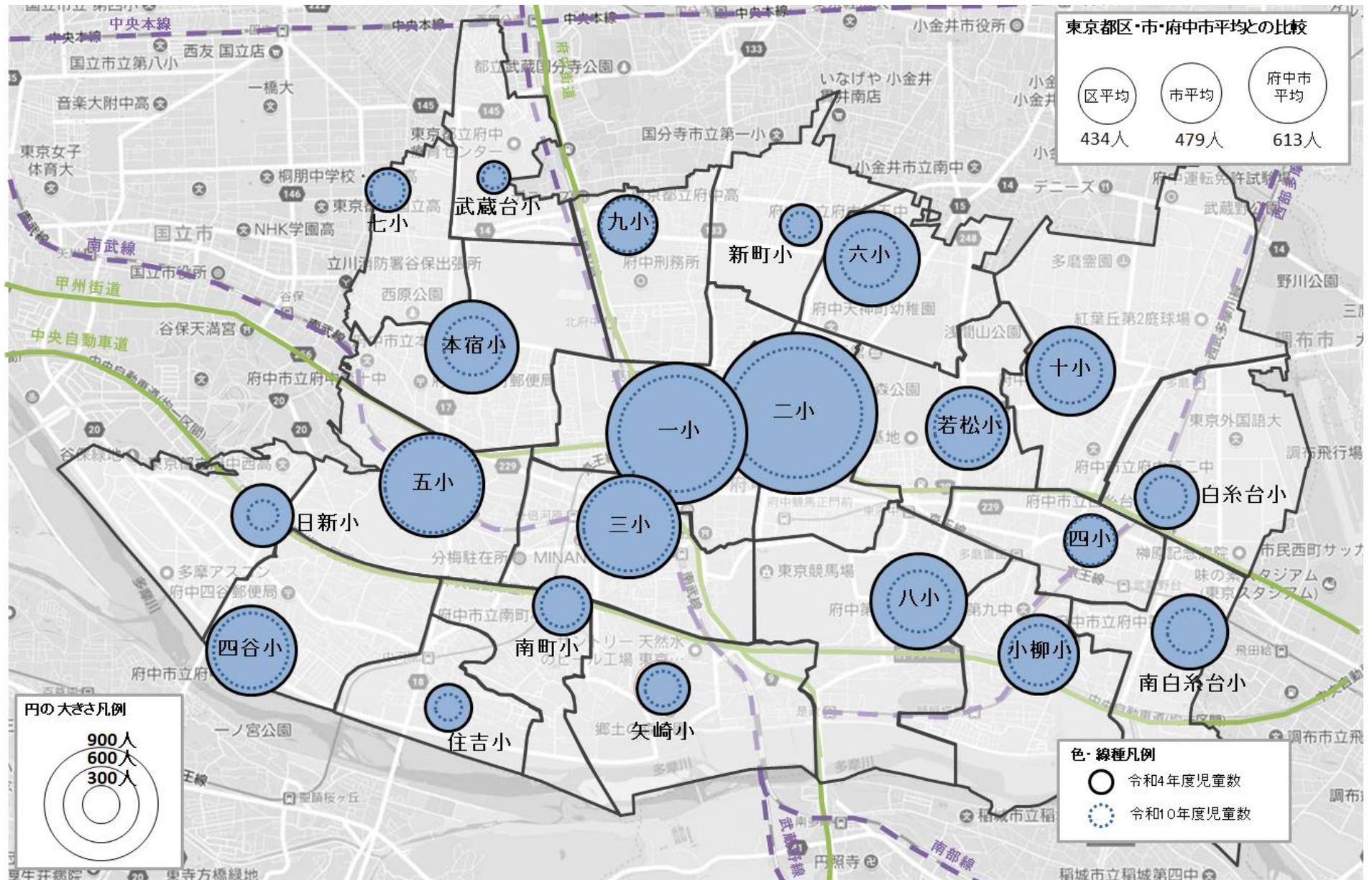
学校名	生徒数（人）					学級数（学級）				
	R4 2022年	R10 2028年	今後 6年 R10-R4	R16 2034年	今後 12年 R16-R4	R4 2022年	R10 2028年	今後 6年 R10-R4	R16 2034年	今後 12年 R16-R4
一中	622	613	-9	526	-96	15	18	3	15	0
二中	670	666	-4	436	-234	19	17	-2	12	-7
三中	615	619	4	510	-105	17	17	0	15	-2
四中	632	696	64	569	-63	17	19	2	15	-2
五中	447	446	-1	254	-193	13	12	-1	8	-5
六中	628	588	-40	444	-184	18	16	-2	12	-6
七中	231	206	-25	160	-71	7	6	-1	6	-1
八中	755	678	-77	431	-324	21	18	-3	12	-9
九中	433	446	13	355	-78	12	12	0	10	-2
十中	346	348	2	270	-76	10	10	0	9	-1
浅間中	597	625	28	528	-69	17	17	0	15	-2
計	5,976	5,931	-45	4,483	-1,493	166	162	-4	129	-37

※令和10年度までの推計値については、第5回府中市学校適正規模・適正配置検討協議会（令和5年5月15日開催）資料の推計値を再掲

※令和16年度の推計値については、令和4年4月1日時点の住民基本台帳人口を基準に、コーホート要因法を用いて推計

令和4年度と令和10年度時点の児童数比較

※令和10年度は、令和4年生まれの子供が小学校に入学する年度

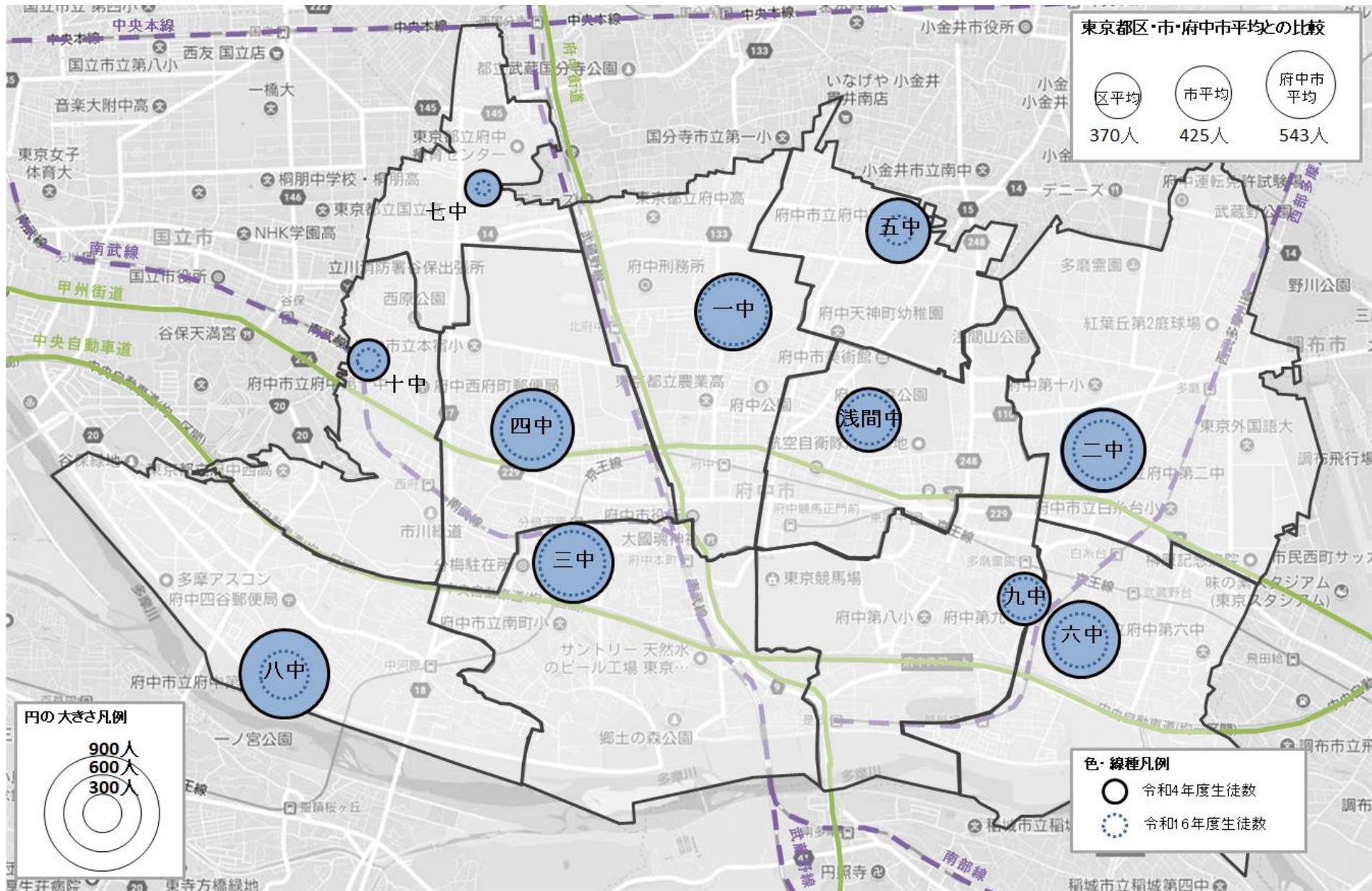


※1: 令和4年度の児童数は特別支援学級を含む5月1日現在の数、平成10年度の児童数は推計値

※2: 東京都区・市・府中市平均との比較は東京都「東京都における小中学校施設の現状」文部科学省/「公立学校施設実態調査」より(令和4年5月1日現在)

令和4年度と令和16年度時点の生徒数比較

※令和16年度は、令和4年生まれの子供が中学校に入学する年度



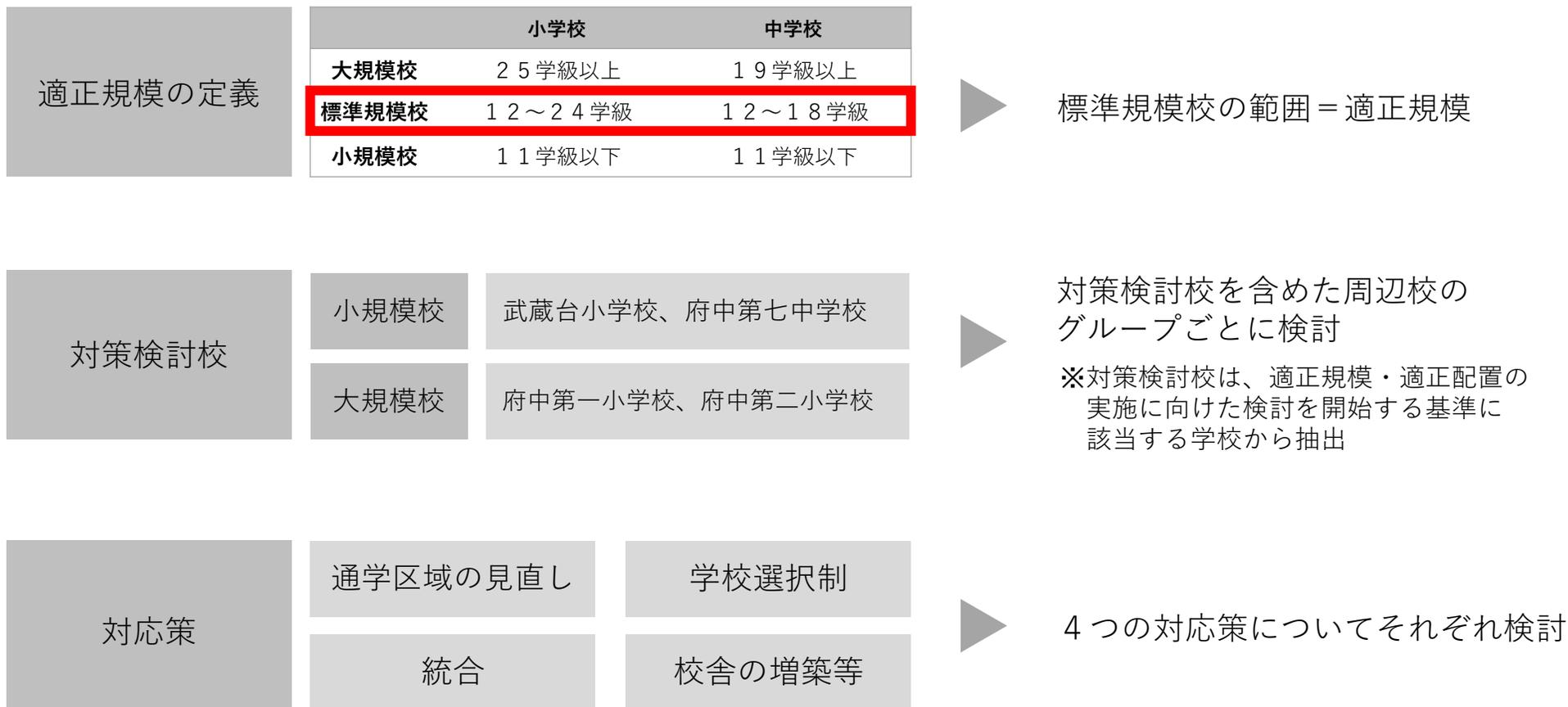
※1: 令和4年度の生徒数は特別支援学級を含む5月1日現在の数、令和10年度の生徒数は推計値

※2: 東京都区・市・府中市平均との比較は東京都「東京都における小中学校施設の現状」文部科学省/「公立学校施設実態調査」より（令和4年5月1日現在）

児童・生徒数の推計と望ましい校舎建築

府中市学校適正規模・適正配置検討協議会では、推計に基づき、適正規模・適正配置を実現するための方策を検討

→令和6年2月に答申公表予定（次回の学校施設老朽化対策推進協議会で説明予定）



改築時点の学級数に見合った規模で建設するが、将来的に余剰教室が生じる学校については、対策が必要

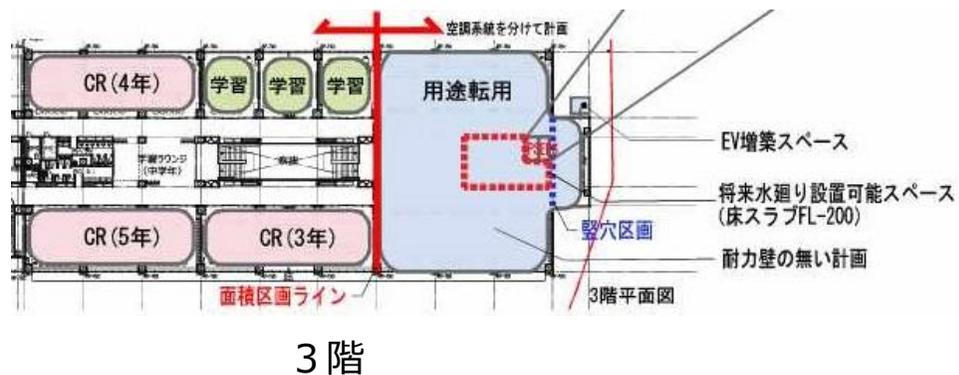
整備方針

児童・生徒数の状況に応じて、柔軟に対応できるよう、
建物の解体や減築、他の用途への転用がしやすい構造や構法を採用する。
(計画本編P88 建物の整備方針及び配置方針)

方針を維持

対策例 1 用途転用を想定した設計

学校と分離したアプローチ動線、エレベーターの増築スペースを確保
レイアウト変更を想定し、用途転用範囲に耐力壁を設けず、空調系統、電源区分も学校と分離可能な計画

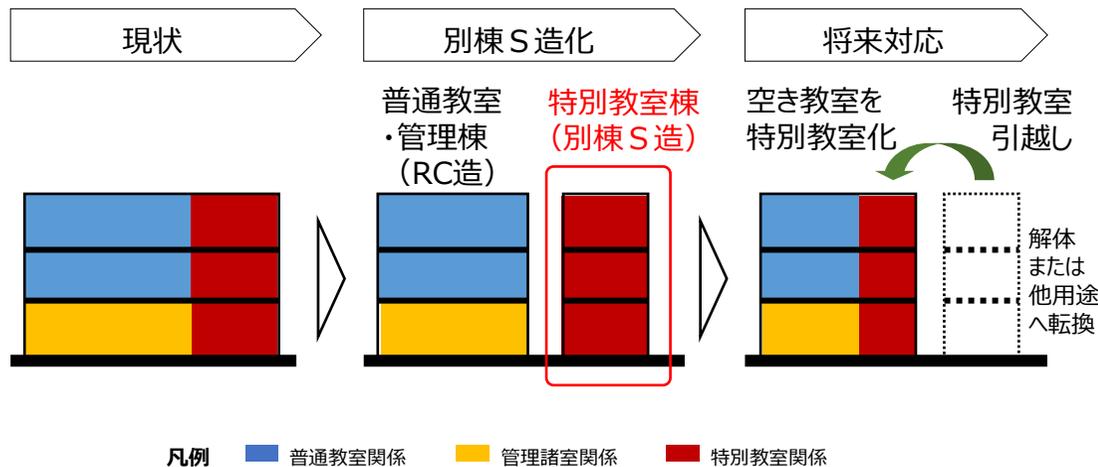


対策例2 減築・用途転用を想定した設計

鉄骨造（S造）で別棟（特別教室棟）を計画

→別棟にすることで、減築も改修も他への影響を少なく対応できる

→ 将来の空き教室は特別教室化し、別棟は解体または他用途へ転換もできる



特別教室棟を別棟にした事例
(大阪府立成城高等学校)